

ブラジル向け洋上原油処理設備を受注

平成 24 年 4 月 26 日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社 (TOYO、取締役社長 山田 豊) と三井海洋開発株式会社 (MODEC、取締役社長 宮崎 俊郎) が共同でシンガポールに設立した MODEC and TOYO Offshore Production Systems Pte. Ltd. (MTOPS) は、このたび MODEC が設立したオランダ法人「セルナンビ・スル MV24 B.V.」より、浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備 (FPSO) に搭載する洋上原油処理設備を受注いたしました。

本 FPSO は 2014 年第 3 四半期より、ブラジル国営石油会社 (ペトロbras 社) など 3 社コンソーシアム「トゥピ BV 社」が保有する、ブラジル・リオデジャネイロ沖合 300km のセルナンビ・スル鉱区 (水深約 2300m) の海底下 5000m プレソルト層 (岩塩層下) にある海洋油田の開発に投入される予定です。

MODEC は、ブラジルにおいて 9 隻の FPSO・FSO の受注実績を持つ世界トップクラスのコントラクターで、TOYO の同社 FPSO プロジェクト向け洋上原油処理設備の納入は今回で 6 件目、また TOYO のブラジルでのプロジェクト実績は 29 件目となります。TOYO は、資源開発や FPSO といったアップストリーム分野の強化に取り組んでおり、今後も MODEC との協力関係をますます強化し、FPSO 搭載の洋上原油処理設備分野の事業拡大を目指してまいります。

受注概要

客先	セルナンビ・スル (Cernambi Sul) MV24 B.V. (オランダ法人) (MODEC (25%)、三井物産 (27.5%)、商船三井 (17.5%)、丸紅 (15%)、シャヒングループ (15%))
受注者	MODEC and TOYO Offshore Production Systems Pte. Ltd. (MTOPS) (シンガポール法人)
係留地	ブラジル BM-S-11 ブロック、セルナンビ・スル鉱区 (リオデジャネイロ沖合約 300km) トゥピ BV 社 (Tupi B.V.、オランダ法人) が鉱区権を保有 (ペトロbras 社 (65%)、BG グループ (25%)、ガルフエネルギーE&P ブラジル社 (10%))
対象設備	浮体式海洋石油生産・貯蔵・積出設備 (Floating Production Storage and Offloading ; FPSO) トップサイド (設備概要：石油生産設備 (日量 15 万バレル) とガス生産設備 (日量 280 百万立方フィート) の洋上原油処理設備)
役務内容	洋上原油処理設備の設計、機器資材の調達およびモジュール製作、据付までの一括請負
原油生産 開始時期	2014 年後半の予定

お問い合わせ先

東洋エンジニアリング株式会社 広報・IR室 [担当：佐藤、深沢]

TEL : 047-454-1113